

第66回通常総会（令和4年度）の開催

R5/2/14

～ 地域が行う農業基盤の維持、保全、整備を支援 ～

東京都土地改良事業団体連合会第66回通常総会は、2月14日東京都立川市・東京都農業振興事務所で開催され、令和3年度事業報告書及び収支計算書の承認、同4年度上半期中間報告、同4年度収支補正予算の承認、同5年度事業計画及び収支予算、役員（理事）の補欠選任など12議案について審議し、全案件は全会一致で承認可決された。

開会にあたり、山下会長はあいさつの中で東京都の令和5年度農業基盤整備予算にふれ、「基盤整備促進事業をはじめ農地防災事業などの国庫補助事業を大幅に増額するとともに、都費単独事業を拡充し、前年度比153.7%の予算を計上している。生産基盤の整備と防災・減災への取り組みによって、市町村が実施するデジタル技術を活用した各種施設整備への支援を進め、緊急時の対応を強化することとしている」と述べた。



山下会長（八丈町長）の開会挨拶

また、「東京農業は、農業の担い手の確保をはじめ、優良農地の保全など農業を振興して行く上で沢山の課題を抱えており、会員市町村においては、課題の解決への取り組みが進んでいる。また、土地改良区では、昨年4月から土地改良法改正に伴う会計の複式簿記化や員外監事に関する制度の運用などに取り組んでいる。こうした会員団体の取り組みに、本会としては、国や東京都の制度を活用しながら、皆様方と連携して、農業基盤整備事業の推進に役職員一丸となって取り組んで参るので、なお一層のご協力をお願いする」などと述べた。

来賓祝辞では、まず、農林水産省関東農政局佐々木明德農村振興部長が挨拶、信夫隆生関東農政局長の祝辞を代読し、次のように述べた。

「農林水産省においては、食料の安定供給の基盤強化に向けて、令和4年度第2次補正予算を措置する等により、海外依存の高い品目の生産拡大や畑地化の促進等による構造転換対策、肥料・飼料・燃料等の価格高騰への影響緩和対策等を講じている。また、食料安全保障の強化をはじめとする将来に向けた課題に対応するため、基本法制定後初めてとなる法改正を見据え、検証・見直しの検討を行っている。

食料の安定供給には、その基礎となる『農地・水等の資源』の保全と効果的活用が不可欠であり、昨今の社会情勢を踏まえると、『土地改良』に求められる役割は益々大きくなっている。

東京都においては、大消費地に近い立地条件を活かして、多種多様な農産物が生産され都市と共存し、都民生活に貢献する力強い東京農業を目指して、担い手の確保、育成や農地の保全などに取り組んでいる。

関東農政局としては、東京農業の持続的な発展と農村の振興に向けて関係機関とよく連携をしながら、農業農

村整備事業や各般の農業・農村施策の推進に精力的に取り組んでいく」

次に、渋谷圭助・東京都産業労働局農林水産部農業基盤整備担当課長が次のように祝辞を述べた。

「東京都における令和5年度予算案において、農業基盤整備に係る主な取組としては、『神津島村農業集落排水施設』の整備、『八丈町銚子の口ため池』や『三宅村西原ため池』の改修工事等のほか、小笠原母島における『貯水施設の整備』、『農道の改修工事』を進めていく。

さらに、農地の保全、農地の創出、多面的機能の発揮に向けた取組を都内全域で推進する新しい事業『未来に



大丸頭首工（大丸用水土地改良区）

残す東京の農地プロジェクト』を予算案に計上している。これら事業は、今まさに開催中の令和5年度東京都議会の方で審議が行われているところである。

そして、土地改良区の皆さまには、今年度、維持管理計画書の作成を支援させていただいている。今後、新しい計画書として、知事に認可申請が提出されるものと考えている。

東京都では現在、新しい『東京農業振興プラン』の策定に向け、ホームページ上で皆様のご意見を募集している。今後の東京都の全ての農業振興施策はこのプランに基づくものであるので、是非、皆さまには一度ご覧になっていただきたいと思う。この中では、農業基盤施設の重要性を明記し、各地域が行う農業基盤の維持、保全、整備を支援していくとしている。

東京都としては今後も、関東農政局をはじめとする国の協力も得ながら、農業農村整備事業の円滑な推進を図り、土地改良事業団体連合会との連携を図りながら、区市町村、土地改良区の支援をしていく。土地改良事業団体連合会においても、会員に対して、より一層の技術援助をよろしく願います」

続いて、進藤金日子参議院議員から寄せられた祝辞の一部が紹介された。

「私は、これまで全国各地の現場を視て、現場の声を国政に届け、政策の実現に取り組んで参りました。その結果、土地改良予算の確保や各種制度の創設・拡充については、一定の成果を収めることができました。国政の場で農業農村の振興・発展に全力を傾注して、政治活動に取り組んで参る所存です。引き続き皆様のご理解とご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます」

議長には前田弘・神津島村長が選出され議事を進行、全議案を審議した後、新任の内田常務理事が就任にあたっての抱負を語った。

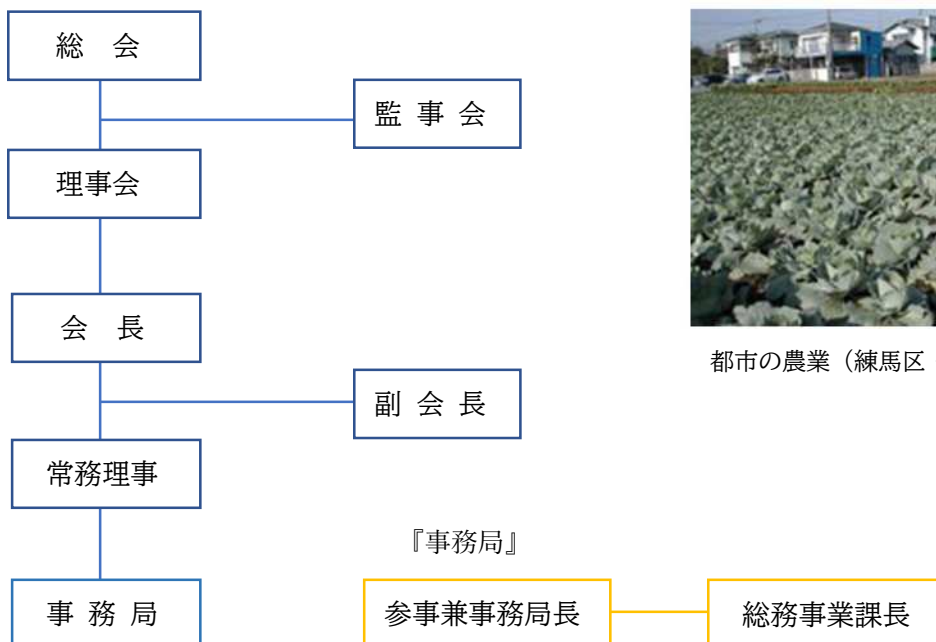
最後に、退任する西田憲史常務理事が挨拶、これまで11年間、同会の経営改善に取り組んできた経緯に言及し、事業の拡大と職員の増員は、表裏一体の関係で、経営上の課題でもあると指摘。職員は、受託した業務は最高の

成果を出していくという目標をもって仕事に取り組んでいるとし、「会員団体の皆さん方からの期待に応えようという伝統を引継ぎ、一生懸命頑張っているのです、今後とも変わらないご支援をお願いする」と述べた。

会員の状況（令和5年1月現在）

市	町	村	土地改良区
あきる野市	日の出町	桧原村	五日市土地改良区
青梅市	奥多摩町	利島村	大丸用水土地改良区
八王子市	瑞穂町	新島村	日野用水土地改良区
町田市	大島町	神津島村	昭島用水土地改良区
	八丈町	三宅村	府中用水土地改良区
		御蔵島村	
		青ヶ島村	
4市	5町	7村	5土地改良区
合計 21会員			

会の構成



都市の農業（練馬区・キャベツ畑）